



館報

おたり



小谷村公民館

☎82-2587

令和7年10月3日

2025 10/25[±] - 26^日

第68回

小谷村文化祭 特集号

P2-P7

サーフィン講座 in 上越



第68回 小谷村文化祭特集号

村民の皆さまの日頃の活動の成果をご披露していただく機会としての作品展示、各種団体の皆さんの出展、イベントを企画します。25日(土)第38回小谷村社会福祉大会【人と人がつながり 支え合う地域づくり】を大会テーマとし、小中学生の発表や講演会の開催、また、26日(日)は、村内各種芸能団体の発表を小谷村役場多目的ホールにて実施いたします。一般創作の審査、農産物のコンテストも実施いたします。様々な飲食ブースや野菜、工芸品等の販売、体験ブースもあります。活気溢れる文化祭となるよう皆様のご来場を心よりお待ちしております。

文化祭特別イベント開催

■25日午前中(土)

おたりトンネル『とびっくら選手権』

I N雨中・月岡バイパスを開催!

開通前の最初で最後の年代別短距離走お祭り企画です。事前に参加申込が必要となりますので、詳細につきましては、6ページをご覧ください。

■26日午前中(日)

長野県緑の基金出版『森のくまさん 北アルプスのたび②』

絵本読み聞かせ会(紙芝居)の開催!

北アルプス地域を舞台とした子どもたちに人気の絵本となります。当日は、作者の藤岡牧夫さんも来村し、絵本やグッズの販売、サイン会も行う予定です。詳細につきましては、7ページをご覧ください。

両日とも大勢の方のご参加お待ちしております。

文化祭企画展

『森のくまさん原画展』～北アルプスのたび①②他～ 作:藤岡牧夫

文化祭特別イベントでもご紹介しましたが、絵本の中には、梅池自然園やホテル公園、中谷郷おらが里、戸土のブナ林などが登場します。森のくまさんシリーズは全5作品あり、絵本作家自ら現地を歩き、取材し描かれたものとなっております。

子どもたちの心に、命を育む森林の大切さや思いやりの愛の芽が生まれますようにと願いが込められた絵本の原画展となります。やさしさに包まれるような世界観を体験してみたいはいかがでしょうか。

※(公財)長野県緑の基金では、この絵本を少しでも多くの子どもたちの目にふれることを願い、長野県内全小学校、特別支援学校、また取材地となった小谷村、白馬村、大町市の全保育園・幼稚園等へ謹呈しております。

展示期間 10月22日(水)～10月29日(水) 正午まで

会場 役場2階 視聴覚室

- 文化祭の2日間(土、日)は小谷村郷土館、牛方宿、千国の庄史料館の三館を無料開放いたします。
- その他、会場につきましては、会場一覧・会場案内のページをご覧ください。



文化祭出品ご参加のお願い

手芸、絵画、工芸などのジャンルを問わず一般創作品展、農産物展のコンテストを実施いたします。つきましては、大勢の皆さんの出品をお願いいたします。

受付 10月24日(金) 午前9時～正午まで

場所 ■一般創作品

役場多目的ホール前ロビーにて

■農作物

役場多目的ホール前ロビー

※JAおたり支所でも10月24日(金) 正午まで受け付けておりますのでご出品ください。

賞品の交付

一般創作品展及び農産物品展で審査後、各賞に入賞された方は、10月24日(金)の午後に音声告知放送でお知らせします。文化祭事務局(公民館事務局)で賞品をお受け取りください。

各賞一覧

■一般創作品展

特選 1点
奨励賞 3点
努力賞 2点
審査員特別賞 1点

■農産物展

優秀賞 2点
優良賞 4点
珍品賞 1点

第68回 小谷村文化祭 (兼)小谷村社会福祉大会

お笑いコンビ **レギュラー** 講演会入場
無料

～知っておきたい介護の話!～

子どもから大人まで、幅広い年齢層に人気を博したお笑いコンビ・レギュラー。最近あまりテレビなどでは見かけないが、実は介護の世界に進出していた!! 介護士が減少傾向にある近年、ヘルパーの資格を取得。そんなふたりが抱えている介護業界に対する熱い思いをお話しします。ネタの披露も織り交ぜ、なぜ介護の勉強をするようになったのかを笑いを交えながらお話しします。

まつもと こうた
松本 康太にしかわあきひろ
西川 晃啓

「あるある探検隊」のネタでお馴染み
レギュラー (芸人)

PROFILE ～プロフィール～

西川 晃啓 (1979年8月11日生まれ 京都府出身)

松本 康太 (1979年5月16日生まれ 京都府出身)

1998年 結成

2000年 第30回「NHK上方漫才コンテスト」優秀賞

2000年 第1回 新野新プロデュース
オール新人漫才ライブ「笑わんかい」優秀賞

2002年 第23回「ABCお笑い新人グランプリ」

最優秀新人賞

2005年 第35回「NHK上方漫才コンテスト」

最優秀賞

介護職員初任者研修、レクレーション介護士1、2級健康ウォーキング指導士の資格を取得。介護の世界と地域社会の橋渡し役として活躍中!!

講演内容

- 介護職員初任者研修とは!?
- 認知症、介護が必要な方との接し方、向き合い方
- 知っておきたい認知症予防法
- 介護とは「自立支援」への手助け
- レギュラーが考案! 手足の運動を伴った「あるある探検隊」

と き 令和7年10月25日(土) 午後2時～

ところ おたり開発総合センター(小谷村役場) 多目的ホール

※当日は聞こえに不安のある方のために、リアルタイム字幕を行います。



カメラ・携帯電話での撮影、録音は
かたくお断りします。

小さいお子さまをお連れの方へ

誰もが講演会を楽しんでいただけるよう周囲への気配りにご配慮願います。

周りの皆さまへ

お子さまは初めての講演会の可能性もあります。雰囲気からず、ご迷惑をかけてしまうこともあるかもしれません。優しく声をかけたり、温かく見守っていただけると幸いです。

主 催 文化祭実行委員会

共 催 小谷村社会福祉協議会

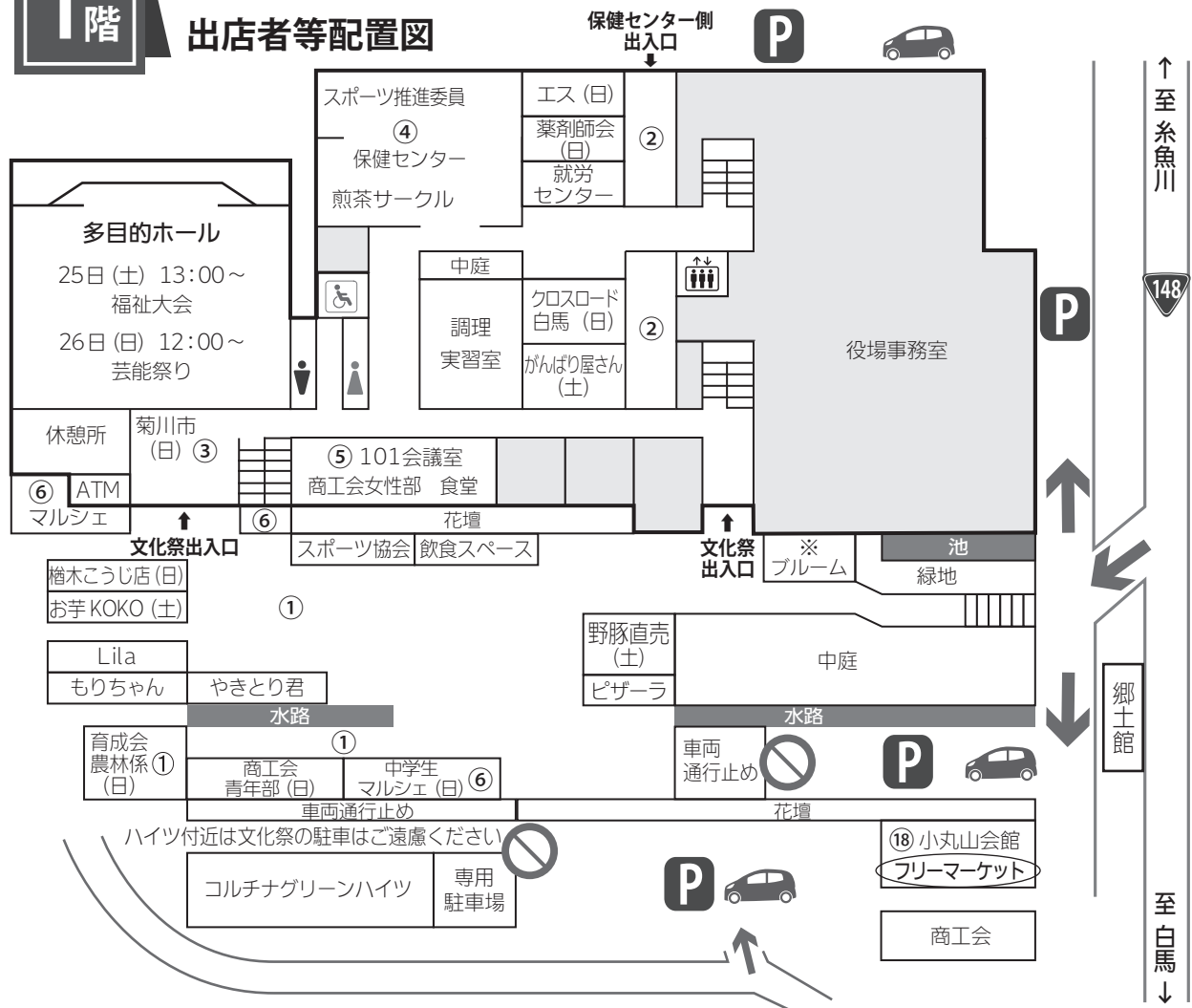
事務局 小谷村公民館(小谷村役場2階)

〒399-9494 長野県小谷村大字中小谷丙131

TEL 82-2587(直) FAX 82-3164

おたり開発センター・保健センター・公民館・図書館・議会棟・小丸山会館

出店者等配置図



2階

13 視聴覚室

14

15 図書館

16 文化祭事務局 (公民館事務室)

11

12 205号室

10 204号室

9 203号室

8 202号室

7 201号室

3階

The illustration shows a basket of fruit, including apples and grapes, next to a floor plan of the 3rd floor. The floor plan includes a large room labeled '議会協議会室' (City Council Meeting Room), a staircase labeled '17', and a room labeled '委員会室' (Committee Room). There is also a small icon of a person with a plus sign and a minus sign, indicating a rest area or entrance.

75歳以上の方、あったかいおしるこ無料サービスです。

小谷村文化祭 会場一覧表

No	場 所	内 容	10月24日(金)	10月25日(土)	10月26日(日)
■ 1 F (販売等)					
※庁舎事務室入口		ブルーム (寄せ植え展示)	※20日～26日		
①	多目的ホール前 駐車場	お芋KOKO (焼き芋)	午後準備 13:00～	9:00～15:00	－
		小谷野豚生産組合 (野豚直売)		9:00～15:00	－
		やきとり君・morichan・Lila (販売) / ピザラ (18:00まで)		9:00～15:00	9:00～15:00
		スポーツ協会 (Tシャツ、野菜等販売)		9:00～15:00	9:00～15:00
		商工会青年部・育成会、農林係 (木工体験等)		－	9:00～15:00
		櫛木こうじ店 (販売)		－	9:00～15:00
②	保健センター側通路	小谷村社会就労センター (ボロ織り販売)		9:00～15:00	9:00～15:00
		がんばり屋さん (販売)		9:00～15:00	－
		クロスロード白馬 (販売)		－	9:00～15:00
		システムハウス エス (テロップ作成、数当てゲーム等)		－	9:30～14:00
		大北薬剤師会 (お薬相談、血圧測定等)		－	10:00～11:30
③	多目的ホール前スペース	友好姉妹都市 菊川市 (お茶販売、試飲)		－	9:00～15:00
④	保健センター	煎茶サークル (お茶席 煎茶)		－	9:00～15:00
		スポーツ推進委員会 (ポッチャ・モルック)		－	9:00～15:00
⑤	101会議室	商工会女性部 (カレー、うどん、おしるこ等)		11:00～14:00	11:00～14:00
⑥	役場ATM前 他	小谷中学校 (マルシェ)		－	9:00～15:00
■ 2 F (展示等)					
⑦	201号室	JA南小谷・中土女性部、短歌会、かたくりの郷、 小谷村デイサービスセンター、糸掛け部、おたり猫つぐらの会 (販売有り)	午後準備 13:00～	9:00～15:00	9:00～15:00
⑧	202号室	地域包括支援センター、白馬高校			
⑨	203号室	農産物展、書道展			
⑩	204号室	一般創作品展、公民館講座作品展、裂織の半巾帯展			
⑪	204号室～205号室通路	防火ポスター			
⑫	205号室	文化財保護委員会、おたりアサギマダラの会			
■ 公民館・図書館 (展示等)					
⑬	視聴覚室	企画展「森のくまさん原画展」 作 藤岡牧夫	10月22日 (水) ～29日 (水) (9時～15時まで、最終日正午まで)		
⑭	視聴覚室前 企画展示ホール	がったクラブ、姫川砂防、お絵描き会、小谷村地域活動センター	午後準備 13:00～	9:00～15:00	9:00～15:00
		子育て支援係 (里親相談会等)		－	9:00～15:00
⑮	図書館	図書館古本市 リサイクル	通常営業	10:00～17:00	10:00～17:00
⑯	公民館事務室	事務局 備品 商品引渡し所	事務局 (8:30～17:00)		
■ 3 F 他 (展示等)					
⑰	協議会室・委員会室	保育園展・小中学校展	午後準備	9:00～15:00	9:00～15:00
⑱	小丸山会館	フリーマーケット	午後準備	－	9:30～14:00
小谷村郷土館		無料一般公開	通常営業	9:00～16:30	9:00～16:30
千国の庄史料館		無料一般公開	通常営業	9:00～16:30	9:00～16:30
牛方宿		無料一般公開	通常営業	9:00～16:30	9:00～16:30

※会場及び時間については都合により変更となる場合があります。

皆様へ
ご来場の
お願い

- ・当日は、村内外から大勢のお客様が来ますので、貴重品の管理等には、充分ご注意ください。
- ・駐車場には限りがありますので、乗り合わせ、または村営バス等をご利用ください。
(駐車場について文化祭会場案内のページをご覧ください。)
- ・保護者の方は小さなお子さまから目を離さないようにしてください。



農産物の出品について

■ 出品にあたって 【出品例】

出品物は、その特徴をなくさないよう、泥や枯葉のないよう調整して出品してください。返品は展示会場の203会議室で、10月26日(日)午後3時から行います。

品 目	内容及び数量	品 目	内容及び数量
穀類	水 稲 2合	特用作物	きのこ類 300g又は5株
	玄 米 2合		原木でも可
	大 豆 立毛3株 豆2合	特産	わさび イモ 3ケ
	そ ば 原そば 2合		加工品 農産加工品等
	小 豆 2合	林産	苗 木 実 生 2本
	ほか豆類 2合		さし木 2本
根葉菜類	大 根 2本	果実等	か き 5ケ
	野沢菜 5株		くるみ 10ケ
	じゃがいも 3ケ		く り 10ケ
	さつまいも 1株		その他の果実類 5ケ又は2合
	白 菜 2ケ		タマゴ 3ケ
	その他根葉菜 2ケ		

■ おもしろ野菜珍品コーナー

特別部門として、『おもしろ野菜珍品コーナー』を設けています。面白い形に育った野菜や、規格外の特大サイズの野菜がありましたら、ぜひ出品してください。また、珍しい品種の野菜を作っている方、「今年はこんなものを新しく作ってみた」というものがありましたら出品してください。ビックリするような珍野菜の出展をお待ちしております。

第68回
小谷村文化祭
特別イベント

おたりとんねる とびっくら選手権 in 雨中・月岡バイパス “おたり最速王は誰だ!?”



令和7年11月16日(日)に開通式を迎える雨中・月岡バイパス。開通前の最初で最後のお祭り企画!

開催日 令和7年10月25日(土)

時間 午前9時30分 開会式
午前10時00分 よーいドン!

集合 小谷村役場多目的ホール前

開催場所 役場裏 雨中・月岡バイパスのトンネル内

内容 トンネル内でのとびっくら(かけっこ)競走
60m走

締切り 令和7年10月22日(水)

15:00(期限厳守)

※保険対応及びスタートリスト作成のためご理解ください。
当日の飛び入り参加はできません。

申込み 二次元コードを読み込み、
申込フォームより
ご記入ください→



カテゴリー ※大会当日の年齢でエントリー

- ① 保育園年少さん ② 保育園年中さん ③ 保育園年長さん
- ④ 小学1・2年女子 ⑤ 小学1・2年男子 ⑥ 小学3・4年女子 ⑦ 小学3・4年男子
- ⑧ 小学5・6年女子 ⑨ 小学5・6年男子 ⑩ 中学生女子 ⑪ 中学生男子
- ⑫ 一般女子(高校生～39歳) ⑬ 一般男子(高校生～39歳) ⑭ 40歳代女子 ⑮ 40歳代男子
- ⑯ 50歳代女子 ⑰ 50歳代男子 ⑱ 60歳代女子 ⑲ 60歳代男子 ⑳ 70歳代女子 ㉑ 70歳代男子
- ㉒ 80歳代女子 ㉓ 80歳代男子 ※上記の年齢要件に当てはまる小谷村民、または村内に勤務する方。



競技方法 各カテゴリーごと、60mのとびっくら(かけっこ)を行い着順で順位を決定する。(タイム計測はしない) 各カテゴリー1位から3位まで賞状を授与する。

観戦(申込不要) トンネル内での開催となります(全天候型)、応援いただける方はお気軽にトンネル内にお越しください。多くの皆様の応援で大会を盛り上げてください。

●大会終了後、午後1時より「小谷村社会福祉大会(※講演会午後2時～)」が開催されます。
小谷村文化祭の初日のイベントとして開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



大きな声援で
とびっくら競争を
盛り上げてください。



主催 小谷村公民館、小谷村スポーツ協会 **後援** 大町建設事務所 **問合せ先** 小谷村公民館 Tel 82-2587

第68回小谷村文化祭特別イベント

紙芝居 読み聞かせ会



『絵本 森のくまさん 北アルプスのたび②』

作：藤岡牧夫 発行：公益財団法人 長野県緑の基金

開催日 令和7年10月26日(日)

時間 午前10時から

場所 小谷村役場2階 視聴覚室



絵本 森のくまさんシリーズ他

・ポストカード・マグカップ・クリアファイル・Tシャツ
・高画質複製作品(ピエゾグラフ作品)等

当日は、作者の藤岡牧夫さんも
来村し、絵本やグッズ販売、
サイン会も行う予定です。

小谷村文化祭 企画展

絵本 森のくまさんシリーズ原画展

北アルプスのたび①② 他

開催日 令和7年10月22日(水) ~ 10月29日(水) 最終日正午まで

時間 午前9時 ~ 午後3時まで

場所 小谷村役場2階 視聴覚室

ふじおか まきお
■藤岡 牧夫 プロフィール

1949年木曽谷に生まれる。多摩美術大学グラフィックデザイン科を卒業し、東京でフリーのイラストレーターとして活動。1999年カヌーイストで作家の野田知佑氏と共著の絵本「笹舟のカヌー」(小学館)を初出版。有楽町マリオン阪急で原画展を開催し、絵本の分野に進出。教育出版小学校国語教科書表紙絵12点制作。信濃毎日新聞夕刊「風に吹かれて」は2002年より約8年間連載等多数担当。2011年長野市へUターン。2012年小布施町に「おふせ藤岡牧夫美術館」を梅崎謙勝氏により設立(2021年閉館)。2015年長野県緑の基金より「森のくまさん」が出版され、シリーズ5作を数える。2019年「長谷寺の子ども忍者」10作品を鎌倉長谷寺へ奉納。2021年木曽郡上松町新庁舎常設絵画納品。2022年木曽郡大桑村新庁舎へ常設絵画4点を納める。2024年7月より半年に渡り、週刊長野「私の歩み」で自伝を連載。一貫して「人と自然」をテーマにしている。



■絵本のコンセプト

緑の募金などを活用し、様々な緑づくりに取り組んでおります。この絵本のシリーズは、子どもたちの心に木を植えるプロジェクトです。先人たちが育んできたかけがえのない豊かな森を、子どもたちに引き継いでいきたいと思います。1人でも多くの子どもに森や木からメッセージが届き、未来を生きる心の支えになることを祈っております。
(公財) 長野県緑の基金より

※小谷村図書館には「木が伝えてくれる物語」シリーズ全10作品(森のくまさん全5作品含む)が揃っており、(公財) 長野県緑の基金から献本いただいたものとなります。

お問い合わせ先 小谷村公民館 TEL 0261-82-2587

小谷村公民館 学びの森講座

カメラ初心者向け Photo Lesson

8/25 (月)

講師：キタムラ時計店 北村順二さん

参加者は、一眼レフ（ミラーレス）カメラを持参いただき開催。今回は動く被写体を撮ってみよう！ということで、カメラのシャッターが開いている時間のこと（シャッタースピード）やレンズを通る光の量を調節する機能（絞り）などを学び、撮る角度やタイミングを実践的に行いました。専門的ではありませんが、共通の意識を持った人の繋がり場の提供したいという思いもあり、少人数で気軽に不明点を聞けてよかったなど感想をいただきました。



サーフィン講座

9/7 (日)

講師：LEA SURF 小林眞一さん

上越市郷津海水浴場にて開催しました。今回の講座は初心者限定、参加者の皆さんは初めての波乗りが悪戦苦闘。講師の方に基本動作を教えていただき、しばらくするとコツを掴みサーフボードの上に立つことに成功。何歳になっても「できること」が増えるのは楽しいものです。楽しかった時間もあっという間。海に近い小谷村、また楽しいスポーツを見付けてしまいました。



初めての方向け スマホで動画編集にチャレンジ！

9/12 (金)

講師：上川由香里さん



自分で撮影した動画や写真を編集して、1本の動画を作ろうという目標で開催。説明がとてもわかりやすく、使用した編集アプリは、機能も沢山あり、音楽やコメントを入れたり、写真の一部を動画に使用したりと、みなさん試行錯誤しながら、面白おかしく作業に没頭しておりました。最後は、できた動画を見せ合い、「このやり方どうやったの」など、早速家に帰ったら違う動画を作ってみようかなと意欲満々な講座となりました。

陶芸教室

9/18 (木)

講師：陶房～小谷の土～ 萩原良三さん

「陶芸教室」では5名の受講者が作陶に没頭しました。講師の説明後、「習うより慣れる」ということで電動ろくろを使い、イメージしてきたマグカップや茶碗を作るべく早速作陶開始。やってみると思ったより難しい陶芸。時間が進むにつれ皆さんは段々無口になり、最後は無事に個性溢れる素敵な作品が出来上がりました。乾燥・素焼き・本焼きを経て完成は10月下旬。小谷村文化祭で展示されます、どんな作品になるか楽しみですね。



保育園運動会

9月20日(土)に行われた小谷村保育園の運動会。オープニングは全園児の体操からスタート!「ニコッとわらって1・2・3シャー!」という元気いっぱいの掛け声とかわいらしいポーズから始まり、歌に合わせてしっかりと体をほぐしました。

競技最初のプログラム、恒例のかけっこでは、それぞれが一生懸命に走る姿がとっても印象的。続いて、「おみやげひろい」では来年年少さんとなる子どもたちが年長さんのもとに駆け寄る姿に癒されました。

リズムの演技では、各クラスが運動会に向けて練習してきた成果をしっかりと発揮。特に年長さんは保育園最後の運動会。竹馬やフラフープ、組体操などを立派に披露する姿に、涙を浮かべる家族の方々もいらっしゃいました。

年長さん、年中さんによる玉入れ、大玉ころかし、リレーでは、紅組と白組に分かれて白熱した戦いが繰り広げられ、大盛り上がり!各クラスの親子競技では、保護者の方も一丸となり、楽しい時間を過ごしました。

最後の全園児によるリズムでは「応援いっぱいありがとう」と、大きな声で見に来てくれた家族に感謝の気持ちを伝えてくれました。がんばった子どもたちに、年中さん、年少さんには年長のお兄さん、お姉さんから、年長さんには、園長先生からメダルの授与があり、キラキラのメダルをみんな嬉しそうに眺めていました。

小雨が降ったり止んだりのお天気の中、プログラム順を変更しながらの進行でしたが、先生方の臨機応変な対応もあり、予定していた全ての競技を行うことができました。最後には園児、保護者全員で「おしゃべりきかんしゃ」の踊りで締めくくり。園児、保護者の皆さん、先生方、お疲れさまでした!

(小林 明子)



年少「アロハ・エ・コモ・マイ」



年長「仲間とところ合わせて」



年中「100%勇氣」

8/30(土)

村民登山 ~大渚山~ (大草連遊歩道コース)

今年は大渚山!山案内人の田原重男さんと近江拓さんの案内で、小学生と村民合せて25名ほどの参加です。

天気は真っ青な快晴!最高の登山日和。暑さの心配がありましたが、登山道はブナ林に覆われている場所も多く、爽やかな風が吹き、暑さも気になりませんでした。

歩き始めて1時間ほどで山頂に到着!目の前に広がる白馬三山をはじめ、北アルプスの大パノラマは圧巻でした。

反対側には日本海も見え、普段見ることができない景色に子どもたちは北アルプスよりも海に大興奮でした。

帰りは「大草連遊歩道」というコースで下山しました。田原さんのお話しでは、山田旅館のおじいさんが当時では珍しい外国人のお客を連れて大草連遊歩道をスキーで滑り降りていたそうです。それほど急斜面で普段は登山者が使用しないようなレアなコースということです。出発してすぐに想像を超える急斜面!身軽な子どもたちも何度も滑り転んでいましたが、途中から木の枝を掴んだり、後ろ向きで下ったりと学習能力が早く驚きました。

1時間半ほどでゴールの「大草連砂防堰堤」に無事到着!疲労はピークでしたが、参加者は達成感に満ちた素敵な笑顔でした。この登山のおかげでまた1つ、小谷のすばらしさを発見する良い経験ができました。

(スポーツ推進委員 深澤 郁美)



大草連砂防堰堤(ゴール)



大渚山展望台



今回は今年度から北小谷駐在所のお巡りさんを務める、藤澤高広さんをご紹介します。

藤澤さんは、高山村のご出身。幼少から東京農工大までスキーに熱中していました。大学時代もせっかく東京に出たのに、長野県に戻って県内でのトレーニングや山登りばかりしていたそうで。そんな登山の途中で県警の山岳救助隊に出会い憧れ目指すことに。

夢かなって警察官そして山岳救助隊として活動を開始。駒ヶ根警察署から長野市



山岳救助訓練

の県警機動隊を経て、初めて一人での北小谷駐在所勤務です。

長野県が一番端っこの北小谷駐在所、さぞかしさみしがっているとおもいきや、もちろんの山登りのほか、溪流釣り、そして今はまっているのが、海釣り。それもSAPに乗っての釣りだそうです。鯛狙い。長野県で一番海に近い北小谷駐在所にずっと駐在したいそうです。

落ち着いた雰囲気の方ですが、とても活動的、地域のお祭り、会合に積極的に参加されていますので皆さん声をかけてあげてください。

現在、北小谷駐在所修理中につき、南小谷駐在所に山田さんと一緒に勤務しています。

最後に藤澤さんのつぶやき・・・

『まだ未確定なのですが、そのうちもうすぐ多分、お嫁さん連れて来ます！ よろしくお願いたします！』

(片山 真)



山岳救助訓練

9/13(土),14(土)

字宮諏訪神社例大祭

9月13日(土)、14日(日)に深原地区にて例大祭が執り行われました。13日の花灯籠祭りでは、夜20時に6本の花灯籠に火を灯して、祭りの参加者と太鼓の音と共に300mほど離れた字宮諏訪神社まで歩き、獅子舞や小谷太鼓と共に奉納します。

5mほどの長さの太い竹に、約20枚の和紙の花びらを結び付けた約1cm巾の竹ひごが28本。持ち手の減少により本数は6本に減りましたが、花びらの数は約3500枚。安曇養護学校高等部の皆さんがアイロンがけや補修をしてくれた花びらを、地区の皆で2日かけて竹ひごに結びます。皆で協力しながら地区の伝統が守られています。

(加藤 隆博)



太鼓と花灯籠

9/13(土),14(土)

土谷諏訪神社例大祭

土谷諏訪神社奉賛会、奉納相撲の主催団体の解散に伴い、昨年は若連中(仮称)として有志で奉納演芸を執り行いました。そして本年、土谷あんじゃあねえ会という名称で正式に発足し、奉納演芸と奉納相撲を開催させていただきました。小さいころから毎年楽しみにしていた秋祭り。1年の節目としてまた、心の拠り所として楽しみにしているご家庭も多く、楽しく賑やかなお祭りになりました。

土谷諏訪神社例大祭本祭りでは近年珍しくなってしまった相撲を奉納しており、乳児から大人まで多くの方がまわしを締め、行司のはっけよいのこったの掛け声とともにぶつかり合う様は迫力満点です。

(松澤 朋典)



土谷奉納相撲



第3回 大北駅伝大会

昨年は小谷村のコースでしたが、今回は池田町での開催で6チームのエントリーでした。

まだまだ残暑厳しい中、選手のみなさん、すばらしい走りでの沿道での応援のみなさんも熱が入ります。

今年の結果は惜しくも第3位ではありましたが、区間賞が3名と小谷村チーム、大健闘の一日でした。(中田 真麻)

【小谷村チーム各区間出場選手(8区間33.7km)】

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1区 2.8km 岡澤 可純 | 2区 1.4km 望月 岳大 (区間賞) |
| 3区 9.3km 加藤 誠隆 | 4区 2.8km 山田 航輝 (区間賞) |
| 5区 4.65km 中川 敬太 | 6区 1.4km 胡桃 彩七 |
| 7区 4.65km 中川 雄太 | 8区 6.7km 北村健士郎 (区間賞) |



～小谷村チーム～

小谷小学校トレーニングルーム開館予定

10月

村民利用料 …… 1回 200円 / 年間 3,000円

村外者利用料 … 1回 500円

上履をご持参ください。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			10:00～18:00		10:00～20:30	休館日
5	6	7	8	9	10	11
休館日	10:00～18:00					休館日
12	13	14	15	16	17	18
休館日	10:00～18:00					休館日
19	20	21	22	23	24	25
休館日	10:00～18:00					休館日
26	27	28	29	30	31	
休館日	10:00～18:00					

※12:00～13:00は休館

スポーツDAY 第1金曜日開催中!

営業時間 10:00～20:30 ※最終受付20:00

トレーニングルーム延長営業を行います。

ぜひご利用下さい!

※21日火曜日は13:00～18:00休館

小谷短歌会

九月度詠草

ワンオペで赤子を育てる我娘近くに居たら手伝えるのに
この冬に除雪機デビューすることに不安と期待が入り混じる夜

山田みつえ

八十九になれど張りある姉の声ふるさと訛りに心やすまる
萩の花雨にうたれてしな垂れる紅と白との二つならびて

佐鹿まち代

道はたにツクサの青見かけては幼き頃と同じよろこび

蜘蛛の巣に葉のひとつ垂れ下がり茶色のバレリーナ秋風に舞う

上川 美紀

雨続き実りの秋に手刈りする昭和のきつい作業ふたび
ガマの穂が蘇る原通りつつ口ずさむは「因幡の白兔」

松澤 敬子

北横岳の頂上より眺める吾の指先にアキアカネ休む
大根の双葉打つ雨激しくてテレビは都会の洪水を映す

郷津 信子

丈高く草草のなか紅をます鬼灯の実の弾くは知らず
まれにみる夏の暑さにしのびよる秋の気配は山の葉の色

清水 映美

夕暮れに居酒屋で一杯かなわねば厨でつくる小さき器に
プーチンの「臓器を入れかえ長く生きる」腹の底より
怒りこみあぐ

早津 妙子

於他里

お祭り前は、夜の公民館から笛の音が聞こえてきます。横笛はただ吹けば鳴るものではなく、吹き込む唇と笛の角度や距離、息の量など絶妙なコツがいるものです。歩きながら吹き続けると(酸欠で)頭が痛くなると子どもが言うように、なかなか楽しいだけではできません。獅子もまた、その全身の動き、踊る足取りひとつひとつを習っていくのだと思いますが、『人』が『獅子』へと変容していく踊りの変化の過程には、伝える側と演じる側の多くの対話と探究があるのだと思います。

笛や舞、獅子、ささらなどの役は、動画を見て習得できるものでは決してありません。『表現』の言葉で言い表せないものを、互いに探り当てながら『それだ、これだ』というものを見つめていく、尊い継承なのだと考えます。そういった時間を共にしながら、村で生きる、集落で暮らす人と人との関係ができていくこと、それが連綿と世代を超えて繋がっていることを改めて想う九月でした。

(威知 朋恵)